

## ノア・ヴォクシー モデルスタ バージョン

## サイドスカート 取付要領書

品番 MSD44-28001-\*\*  
品番 MSD44-28002-NP

設定型式：MZRA90/5W、MZR90/5W

設定グレード：S-Z、S-G

このたびは、モデルスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

★本商品は登録後架装を前提としています

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。  
また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取りはずさない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。  
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマーN210NT、K-500を本品に添付)
- 重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要 ■両面テープは、外気温が15℃未満になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。  
ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール（IPA）等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要 ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N（5kgf）以上

## 取り付け完了後の点検・注意事項

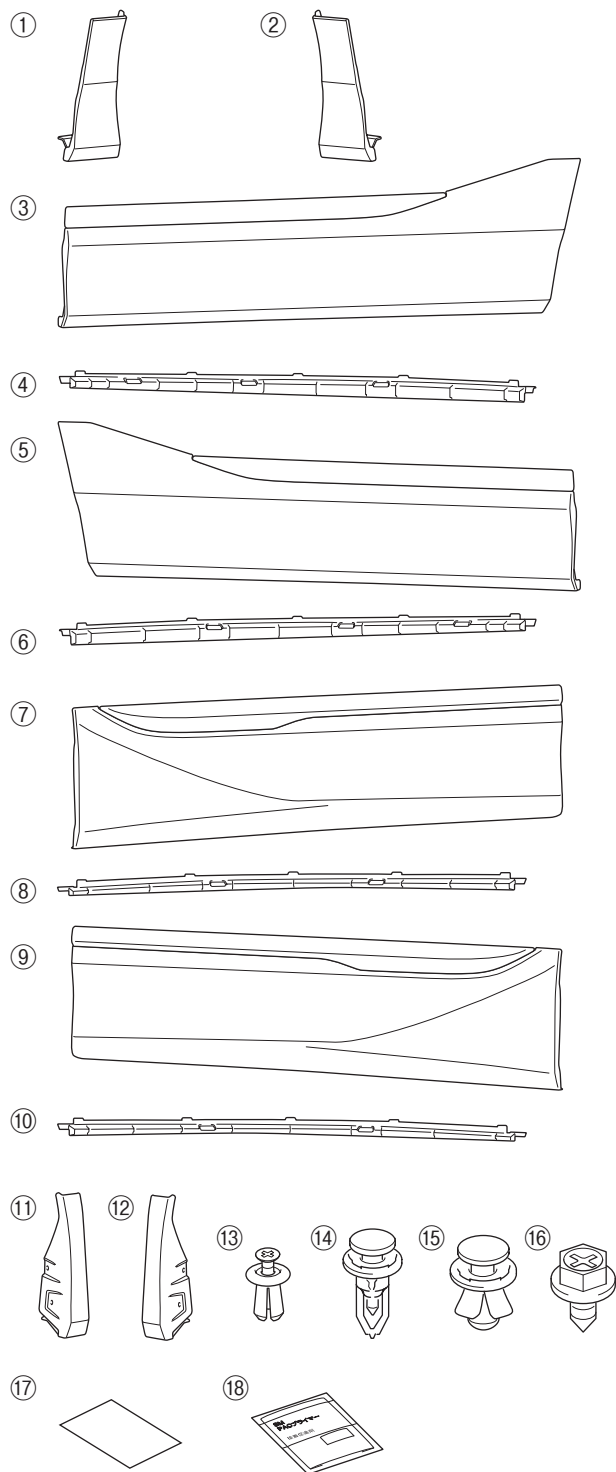
- サイドスカートが、車両に確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。  
(両面テープの剥がれ、サイドスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります)

⚠ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています。

👉 アドバイス ……この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# ノア・ヴォクシー モデルスタバージョン

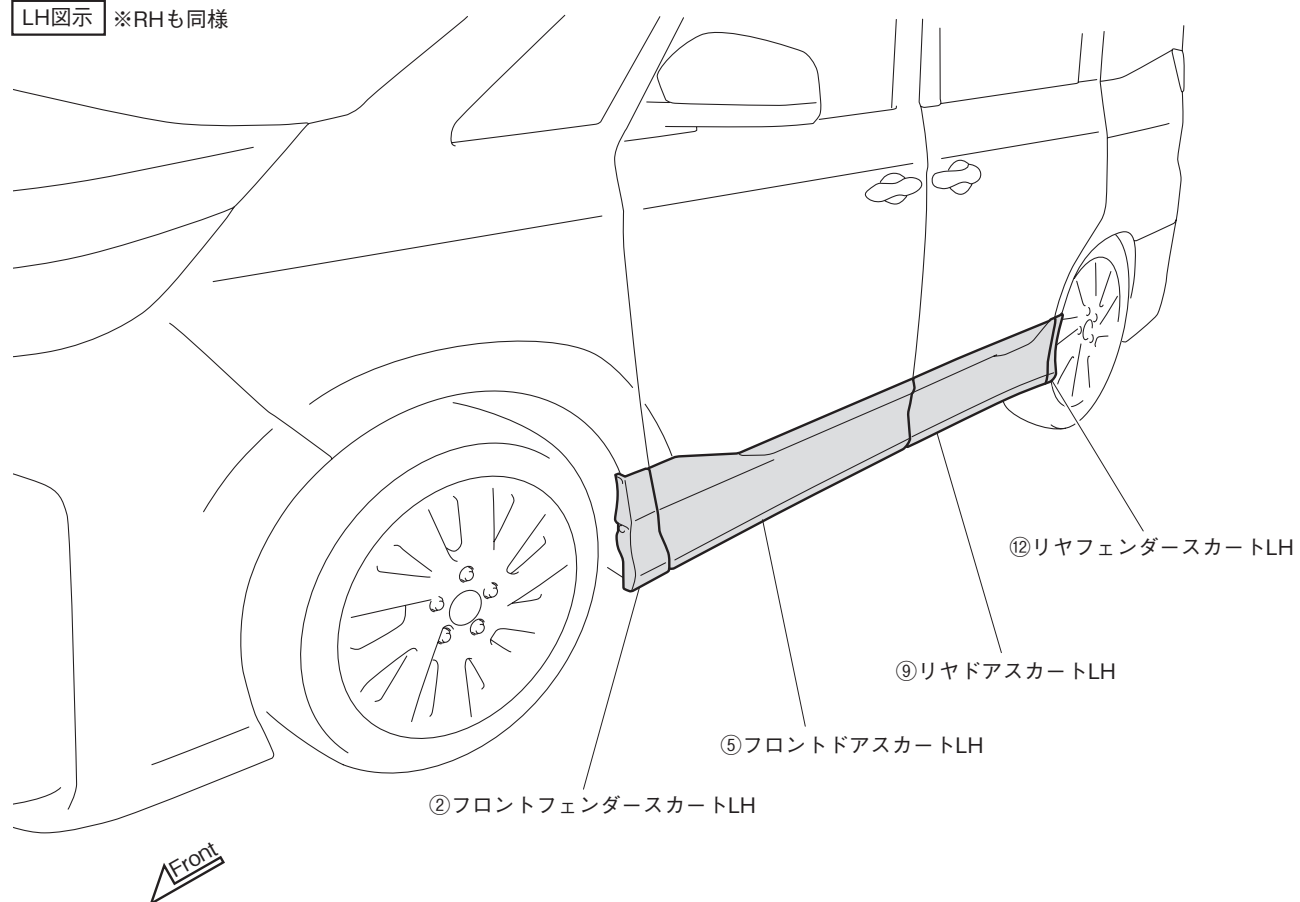
サイドスカート (品番：MSD44-28001-\*\*)  
(品番：MSD44-28002-NP)



| No. | 品 名             | 個数 |
|-----|-----------------|----|
| ①   | フロントフェンダースカートRH | 1  |
| ②   | フロントフェンダースカートLH | 1  |
| ③   | フロントドアスカートRH    | 1  |
| ④   | フロントドアブラケットRH   | 1  |
| ⑤   | フロントドアスカートLH    | 1  |
| ⑥   | フロントドアブラケットLH   | 1  |
| ⑦   | リヤドアスカートRH      | 1  |
| ⑧   | リヤドアブラケットRH     | 1  |
| ⑨   | リヤドアスカートLH      | 1  |
| ⑩   | リヤドアブラケットLH     | 1  |
| ⑪   | リヤフェンダースカートRH   | 1  |
| ⑫   | リヤフェンダースカートLH   | 1  |
| ⑬   | 樹脂クリップA         | 46 |
| ⑭   | 樹脂クリップB         | 4  |
| ⑮   | 樹脂クリップC         | 2  |
| ⑯   | スクリュー           | 6  |
| ⑰   | 型紙              | 1  |
| ⑱   | PACプライマー N210NT | 1  |

## 取り付け概要

LH図示 ※RHも同様



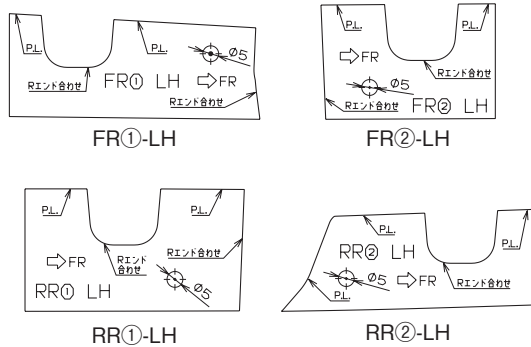
TG-BH-001

# 取り付け手順

※以下の手順はLH側を図示しています。特記事項を除きRH側も同様に行ってください。

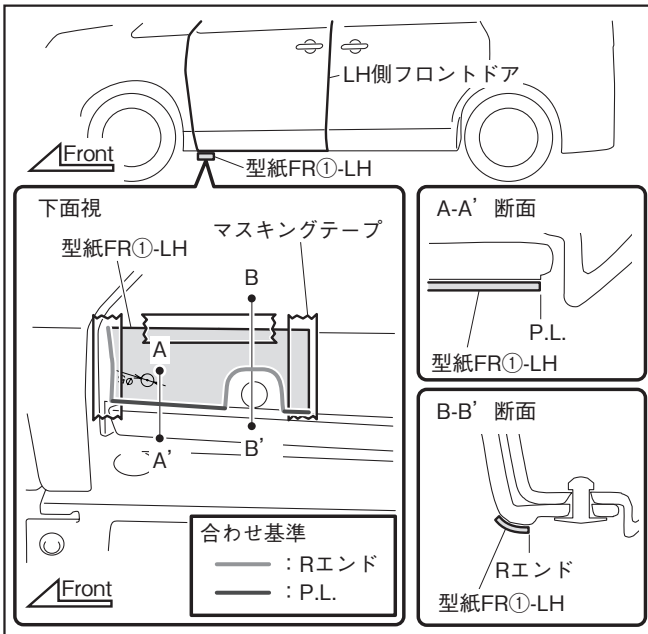
## 取り付け準備

1. 台紙から各型紙を切り離す。



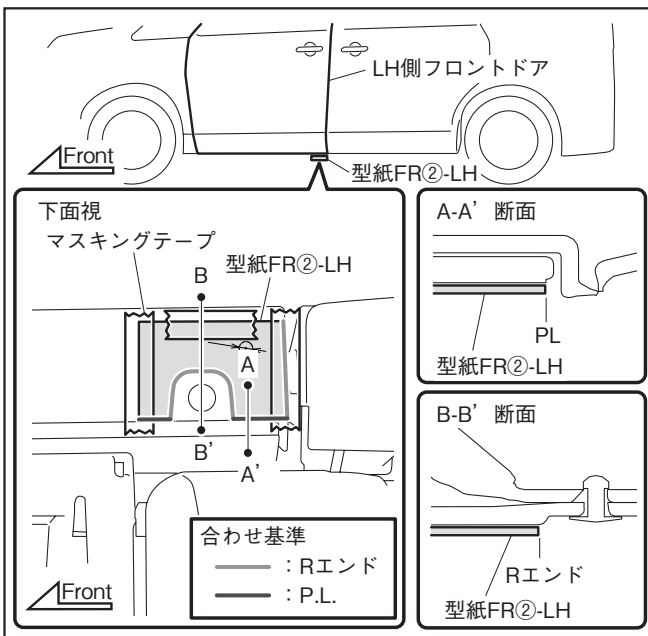
TG-BH-B01

2. 型紙 FR ① -LH を位置決めし、LH 側フロントドア下側にマスキングテープで貼り付ける。

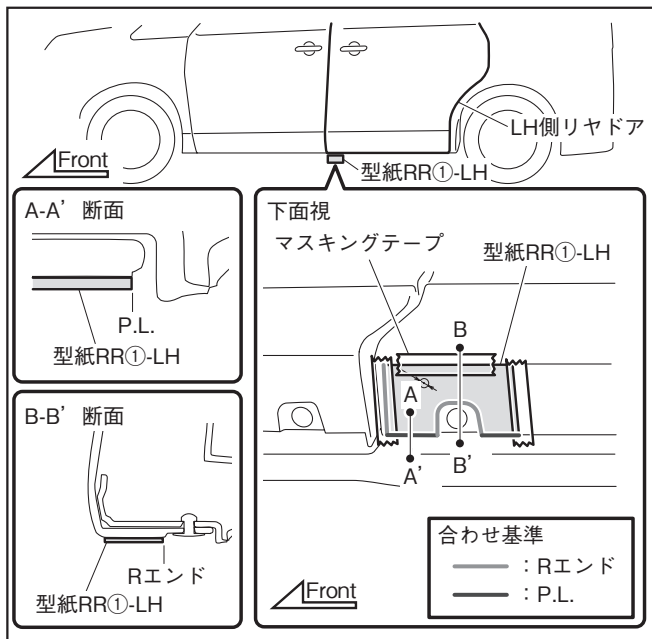


TG-BH-B02

3. 型紙 FR ② -LH を位置決めし、LH 側フロントドア下側にマスキングテープで貼り付ける。

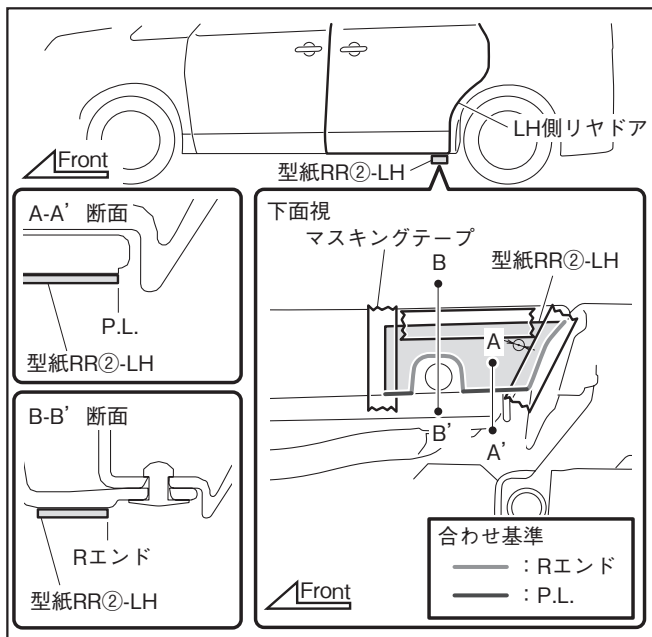


TG-BH-B25



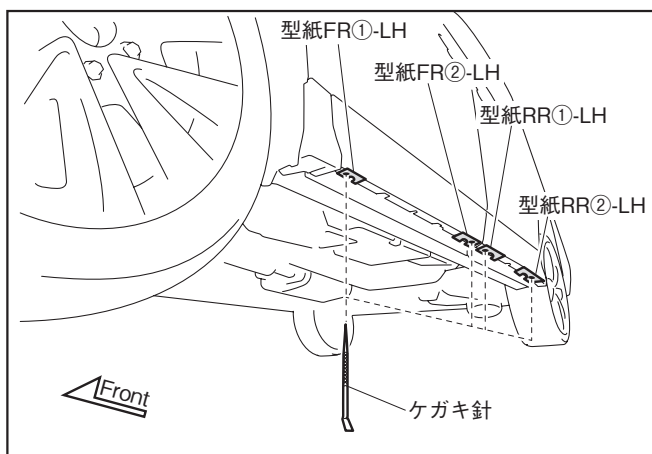
TG-BH-B03

4. 型紙 RR ① -LH を位置決めし、LH側リヤドア下側にマスキングテープで貼り付ける。



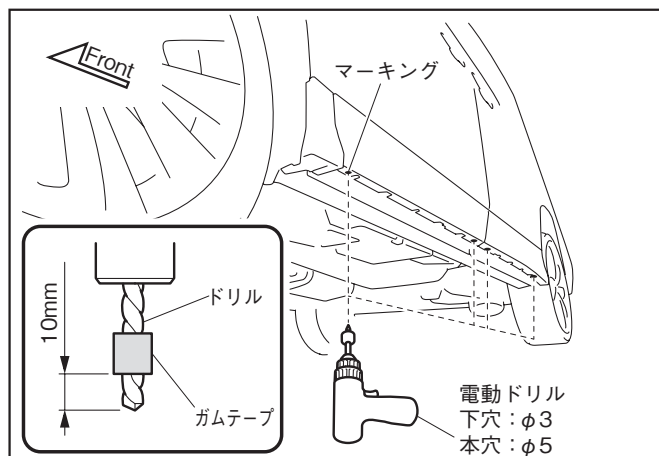
TG-BH-B26

5. 型紙 RR ② -LH を位置決めし、LH側リヤドア下側にマスキングテープで貼り付ける。



TG-BH-B04

6. 各型紙の穴開け位置中心を、ケガキ針でマーキングする。
7. 全ての型紙を取りはずす。

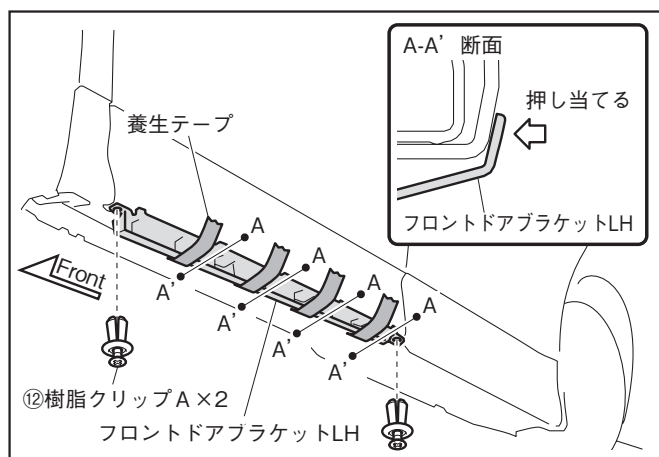


TG-BH-B05

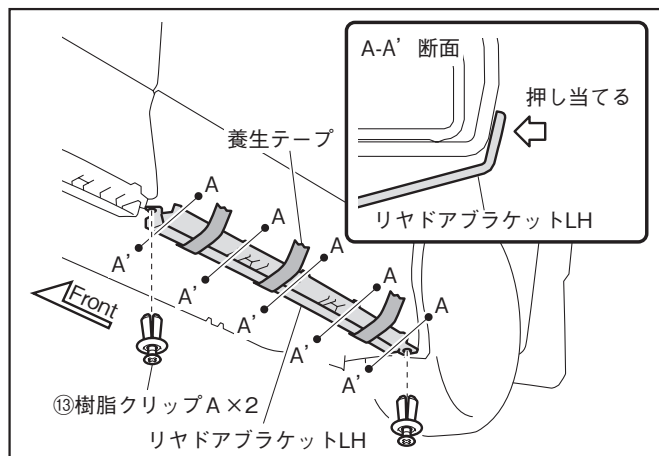
8. 図に従い、ドリル (φ 3、φ 5) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
9. マーキング位置 (2箇所) に、電動ドリルで下穴 φ 3 を開ける。
10. 下穴 (2箇所) に、本穴 φ 5 を開ける。
11. 加工穴周囲のバリを取り除く。

### ⚠ 注意

1. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
  2. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
  3. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。
12. フロントドアブラケット LH を位置決めし、⑫樹脂クリップ A (2 個) 及び養生テープで固定する。

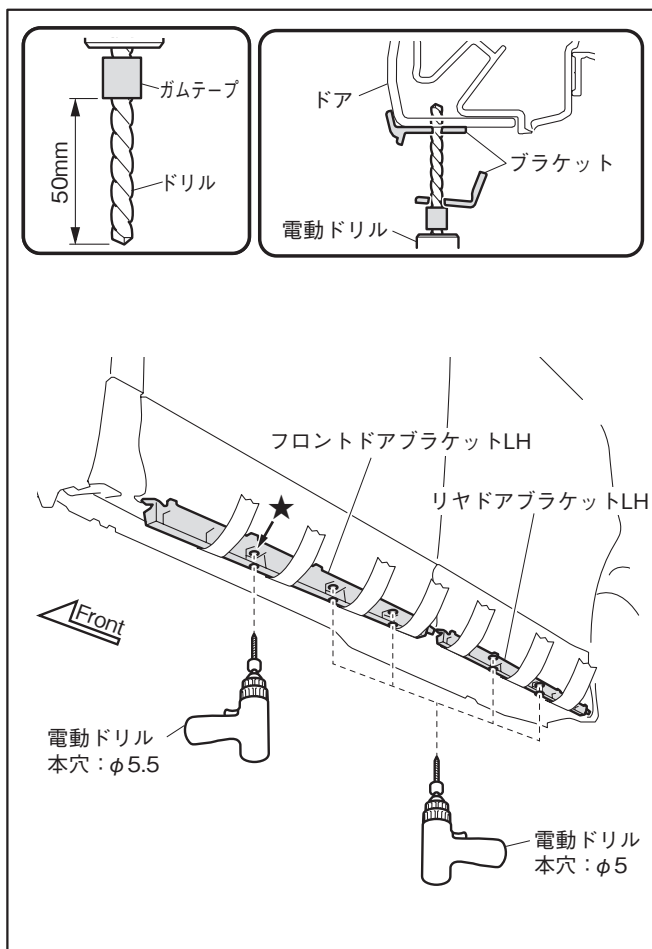


TG-BH-B06

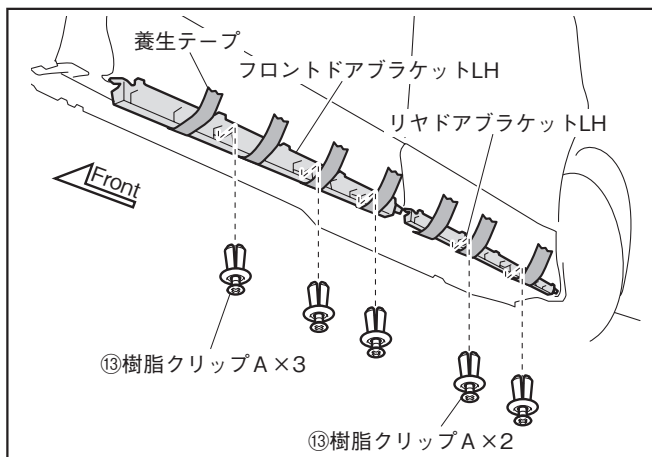


TG-BH-B07

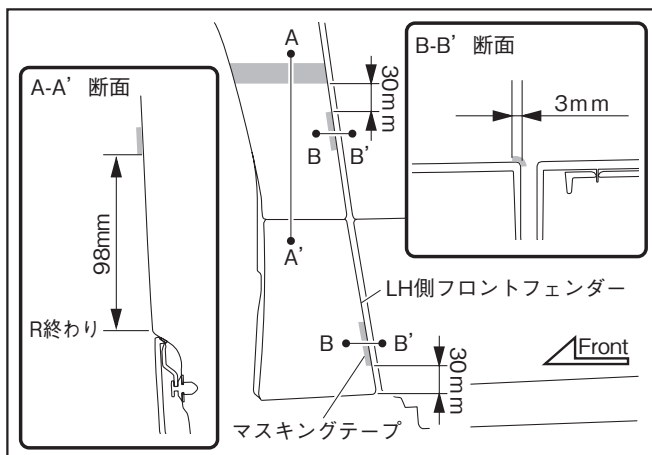
13. 図に従い、リヤドアブラケット LH を位置決めし、⑬樹脂クリップ A (2 個) 及び養生テープで固定する。



TG-BH-B08



TG-BH-B09



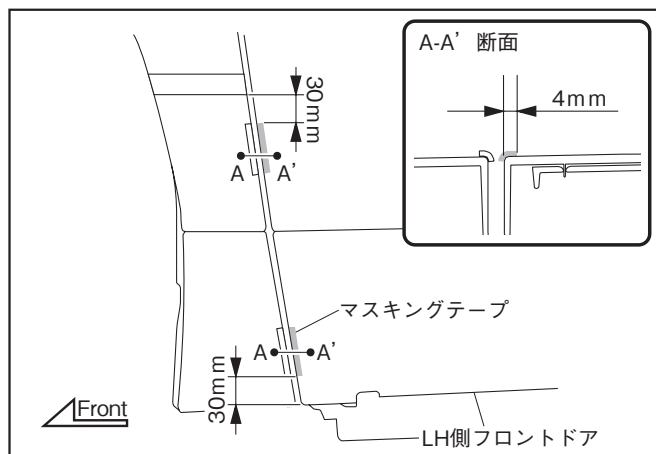
TG-BH-B11

14. 図に従い、ドリル (φ 5) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
15. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH のガイド穴 (4箇所) にドリル (φ 5) を挿入し、本穴φ 5を開ける。
16. フロントドアブラケット LH のガイド穴 (車両前から1個目図中★部、1箇所) にドリル (φ 5.5) を挿入し、本穴φ 5.5を開ける。

### ⚠ 注意

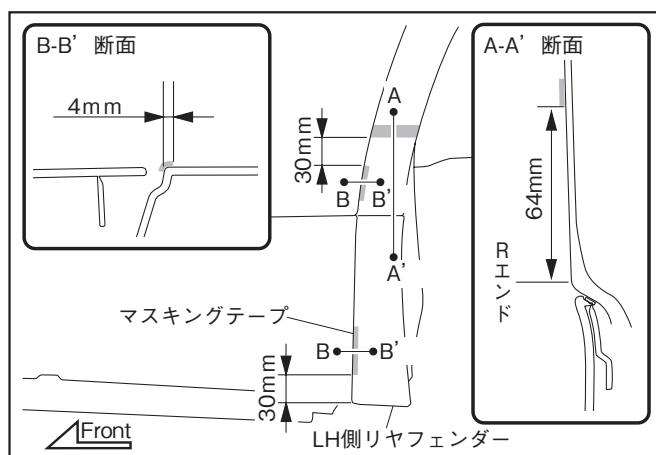
1. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH が動かないように、手で押さえ付けながら作業してください。
2. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
3. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
4. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。
5. 以降の作業でクリップが破損する恐れがあるため、図中★部は必ずφ 5.5 で穴を開けてください。

17. ⑬樹脂クリップ A (3 個) でフロントドアブラケット LH を固定する。
18. ⑬樹脂クリップ A (2 個) でリヤドアブラケット LH を固定する。
19. 養生テープをすべて剥がす。
20. 図の寸法に従い、LH 側フロントフェンダーをマスキングテープでマーキングする。



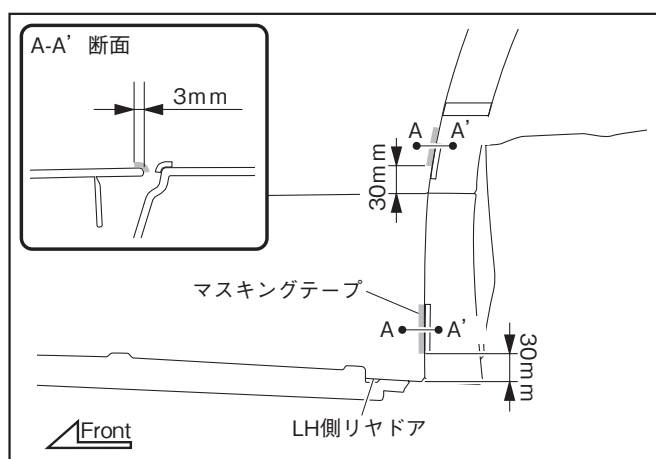
TG-BH-B12

21. 図の寸法に従い、LH 側フロントドアをマス킹テープでマーキングする。



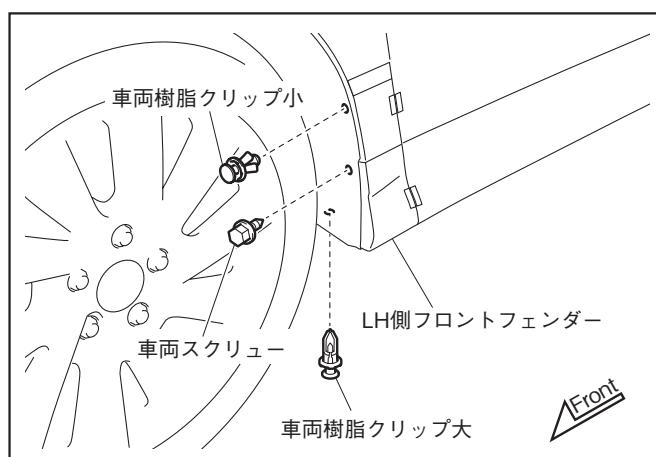
TG-BH-B13

22. 図の寸法に従い、LH 側リヤフェンダーをマス킹テープでマーキングする。



TG-BH-B14

23. 図の寸法に従い、LH 側リヤドアをマス킹テープでマーキングする。

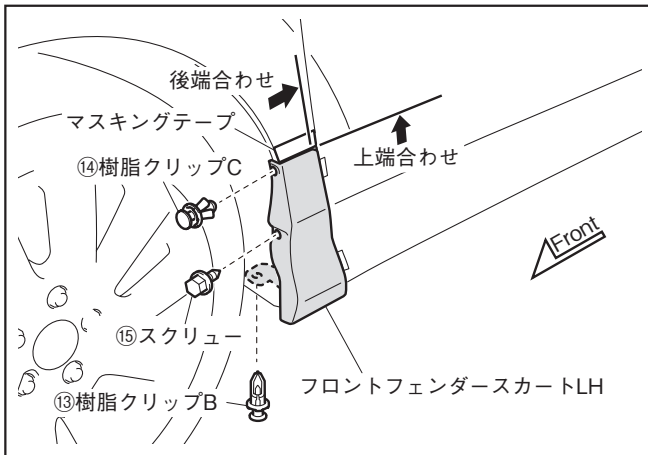


TG-BH-C02

24. フロントフェンダー LH の車両樹脂クリップ大(1 個)、車両樹脂クリップ小 (1 個) 及び車両スクリュー (1 本) をはずす。

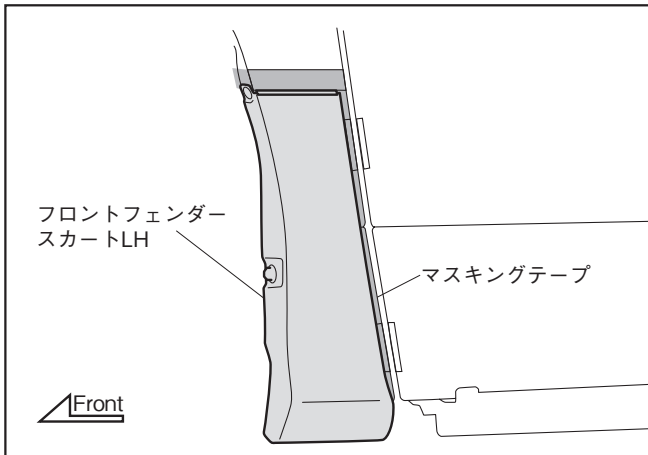
#### アドバイス

車両樹脂クリップ大 (1 個)、車両樹脂クリップ小 (1 個) 及び車両スクリュー (1 本) は再使用しません。



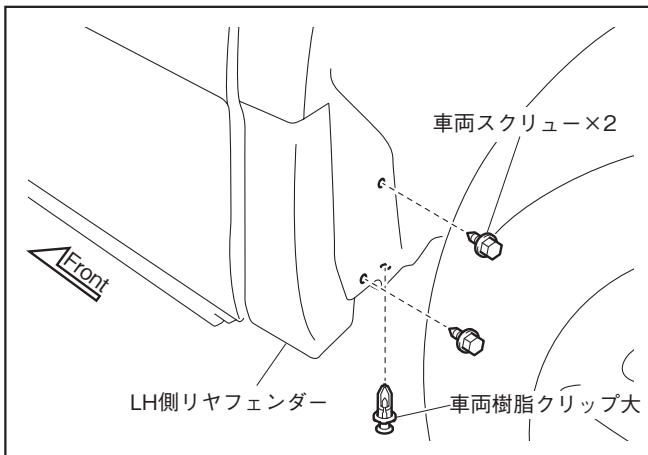
TG-BH-B27

25. フロントフェンダースカート LH を位置決めし、⑬樹脂クリップ B(1 個)、⑭樹脂クリップ C(1 個) 及び⑮スクリュー (1 本) で仮固定する。



TG-BH-B31

26. フロントフェンダースカート LH の端末 (モール 貼り付け部はモール上端) に沿って、マスキングテープでマーキングする。

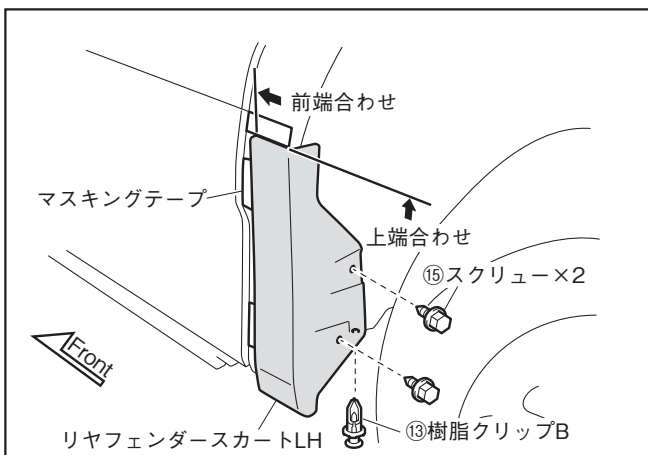


TG-BH-B28

27. LH 側リヤフェンダーの車両樹脂クリップ大 (各 1 個)、及び車両スクリュー (各 2 本) をはずす。

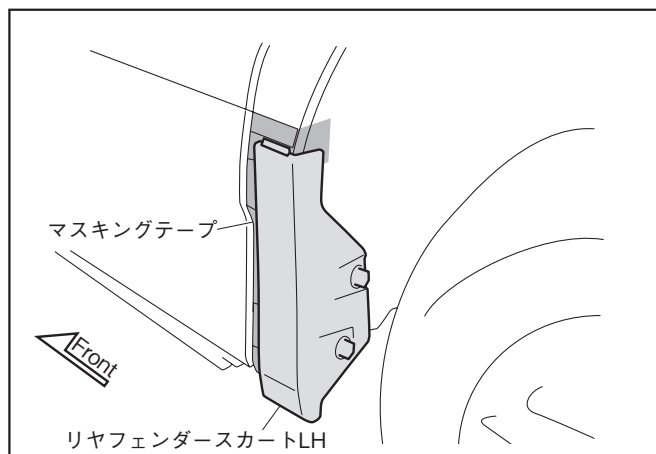
#### 👉 アドバイス

車両樹脂クリップ大 (各 1 個)、及び車両スクリュー (各 2 本) は再使用しません。



TG-BH-B29

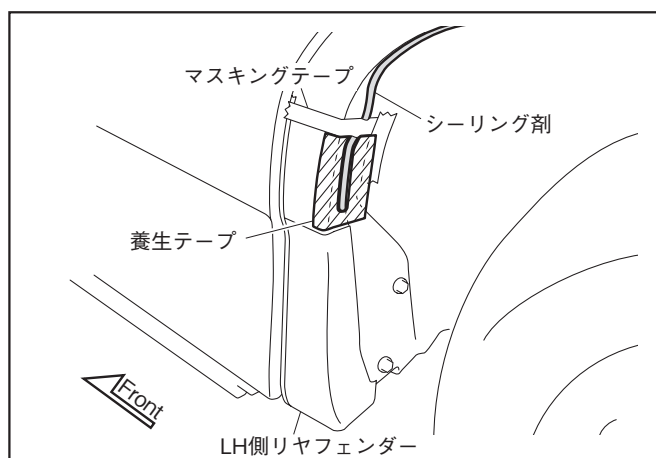
28. リヤフェンダースカート LH を位置決めし、⑬樹脂クリップ B (1 個)、及び⑮スクリュー (2 本) で仮固定する。



TG-BH-B30

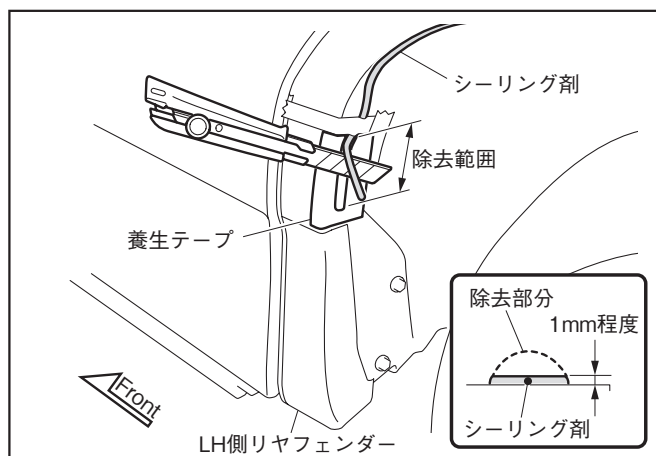
29. リヤフェンダースカート LH の端末（モール貼り付け部はモール上端）に沿って、マスキングテープでマーキングする。

30. 仮固定したフロントフェンダースカート及びリヤフェンダースカートを取りはずす。



TG-BH-B15

31. マスキングテープの下端位置を基準に、LH側リヤフェンダーのシーリング剤に沿って養生テープを貼り付ける。



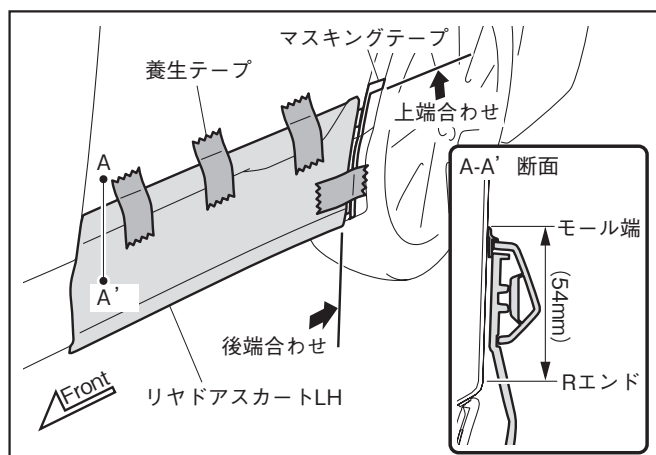
TG-BH-B16

32. LH側リヤフェンダーのシーリング剤を除去する。

### ⚠ 注意

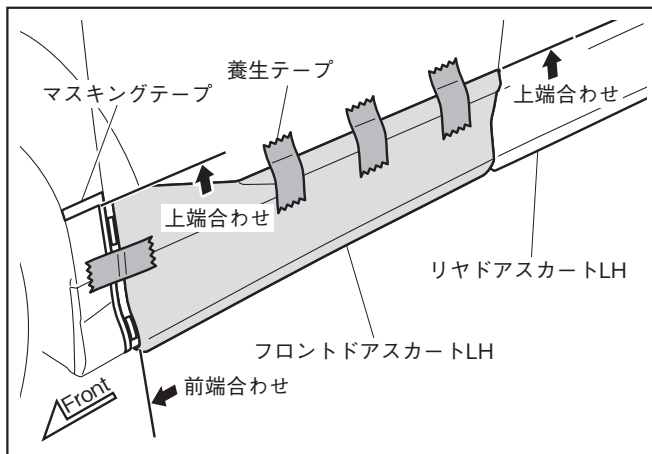
除去する際は怪我と、塗装面への傷つきに注意してください。  
万一、塗装面を傷付けてしまった場合は確実にタッチアップペイントを塗布し、乾燥してから次の作業に進んでください。

33. 養生テープを剥がす。



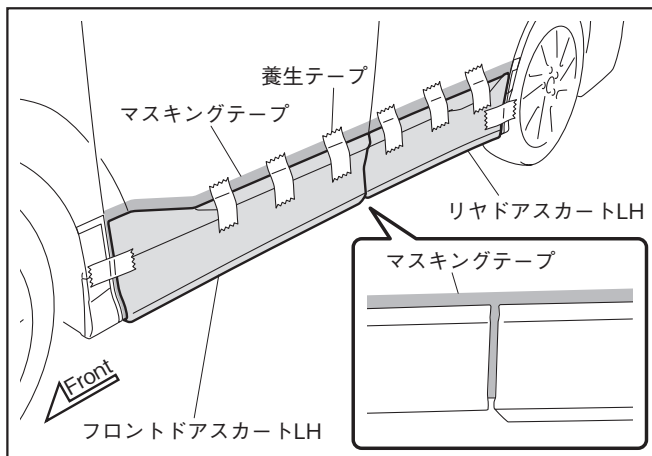
TG-BH-B17

34. リヤドアスカート LH を位置決めし、養生テープで固定する。



TG-BH-B18

35. フロントドアスカート LH を位置決めし、養生テープで固定する。

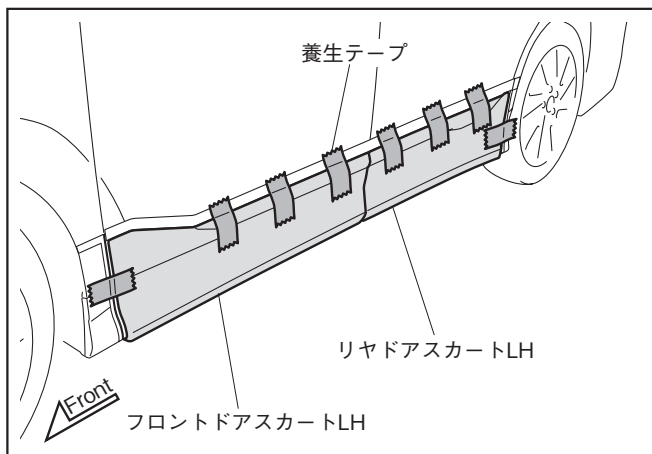


TG-BH-B19

36. フロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH の端末（モール貼り付け部はモール上端）に沿って、マスキングテープでマーキングする。

### ⚠ 注意

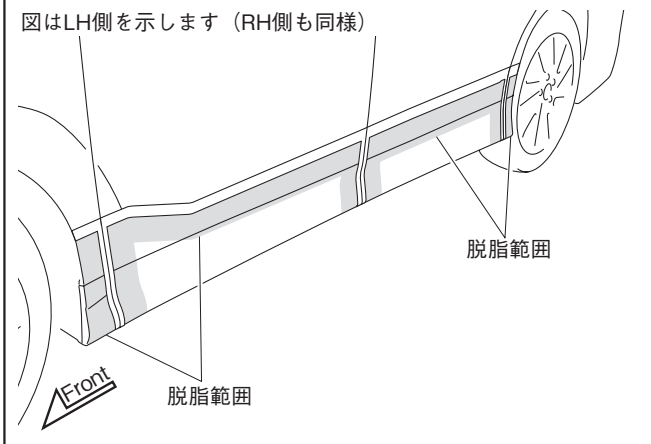
マスキングテープを貼る際は養生テープを剥がしながらフロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH の位置がずれないように貼り付けてください。



TG-BH-B20

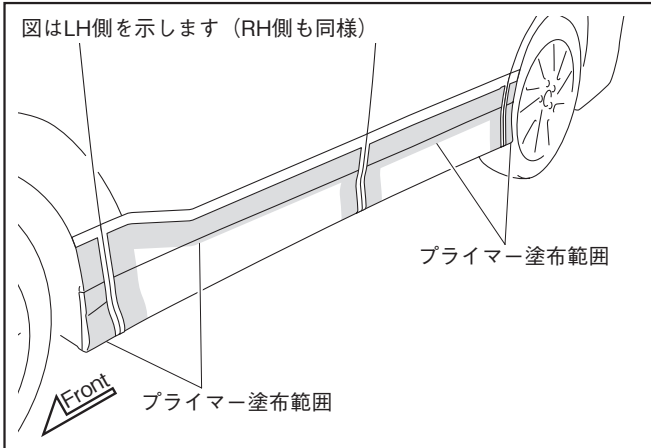
37. 養生テープを剥がし、フロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH を取りはずす。

図はLH側を示します (RH側も同様)



TG-BH-B22

図はLH側を示します (RH側も同様)



TG-BH-B23

38. IPA を使用し、図中脱脂範囲 (マスキングテープで囲った内側) を一方向に拭いて脱脂する。

### ⚠ 注意

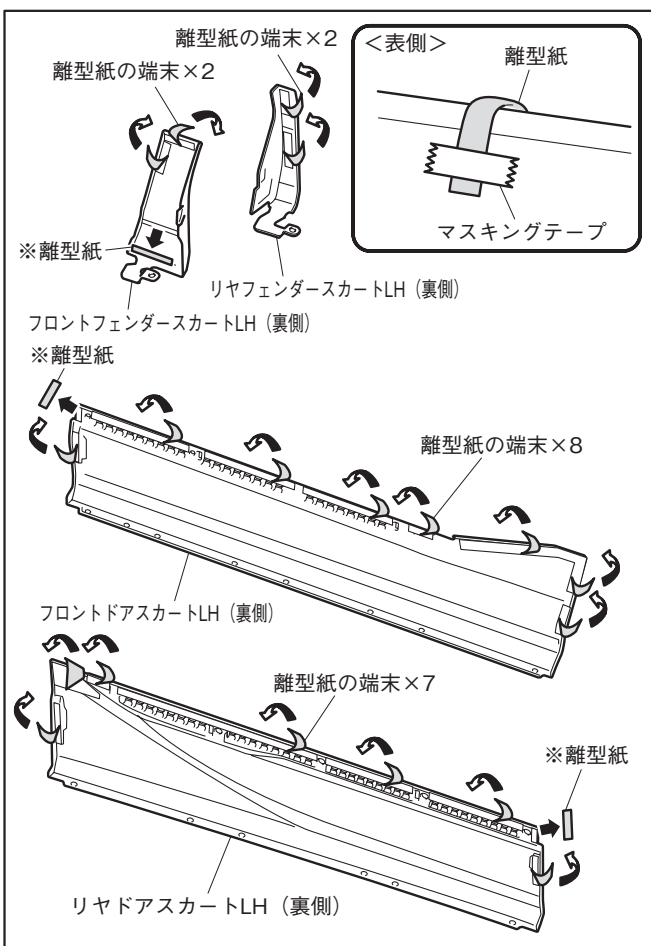
IPA を使用する際は、火気に充分注意してください。

39. プライマー塗布範囲 (脱脂した範囲) にプライマーを塗布する。

### ⚠ 注意

1. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
2. プライマーは、マスキングテープで囲った内側からはみ出さない範囲で塗布してください。
3. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちに IPA で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

## サイドスカートの取り付け要領

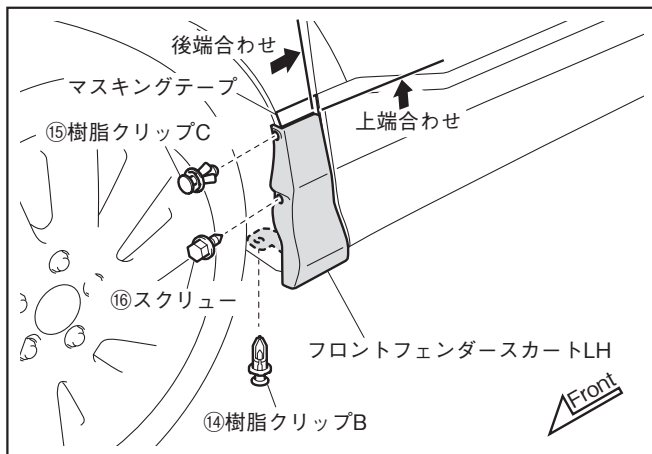


TG-BH-C01

1. フロントフェンダースカート LH の※で示す離型紙を剥がす。  
(図中 ➡ 部)
2. フロントフェンダースカート LH の離型紙の末端 (2箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。  
(図中 ↺ 部)
3. リヤフェンダースカート LH の離型紙の末端 (2箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。  
(図中 ↺ 部)
4. フロントドアスカート LH の※で示す離型紙を剥がす。  
(図中 ➡ 部)
5. フロントドアスカート LH の離型紙の末端 (8箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。  
(図中 ↺ 部)
6. リヤドアスカート LH の離型紙の末端 (7箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。  
(図中 ↺ 部)
7. リヤドアスカート LH の※で示す離型紙を剥がす。  
(図中 ➡ 部)

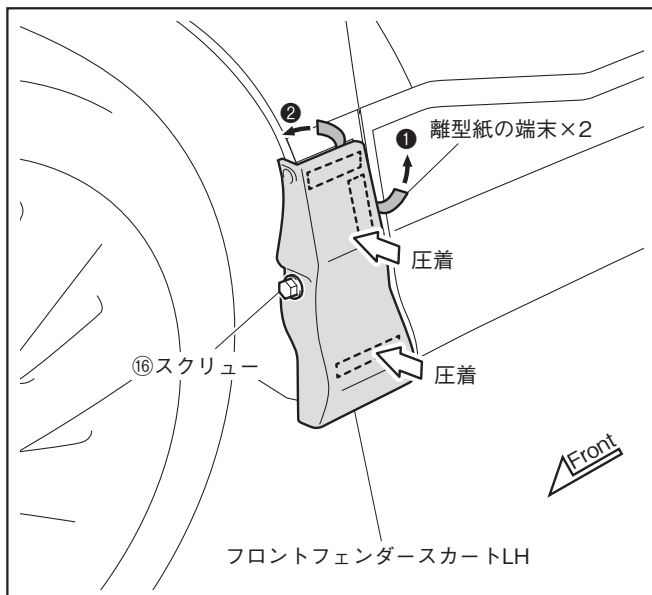
### ⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。



TG-BH-C03

8. フロントフェンダースカート LH を位置決めし、⑭樹脂クリップ B (1 個)、⑮樹脂クリップ C (1 個) 及び⑯スクリュー (1 本) で仮固定する。



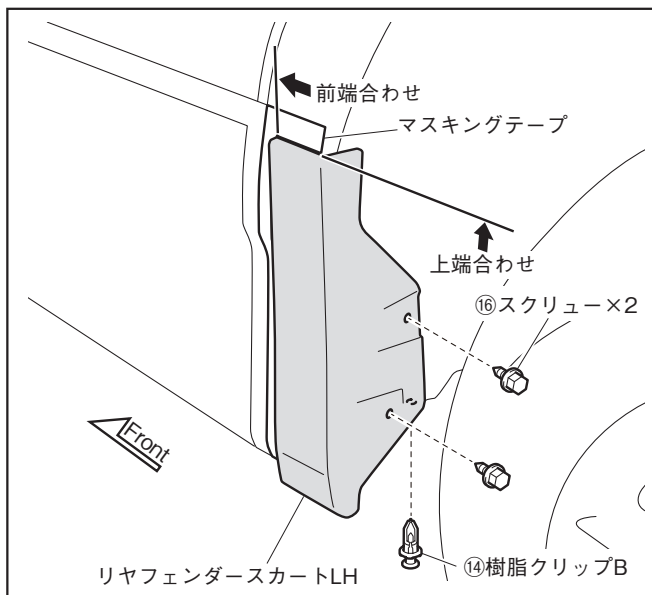
TG-BH-C04

9. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2 箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (3 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

### ⚠ 注意

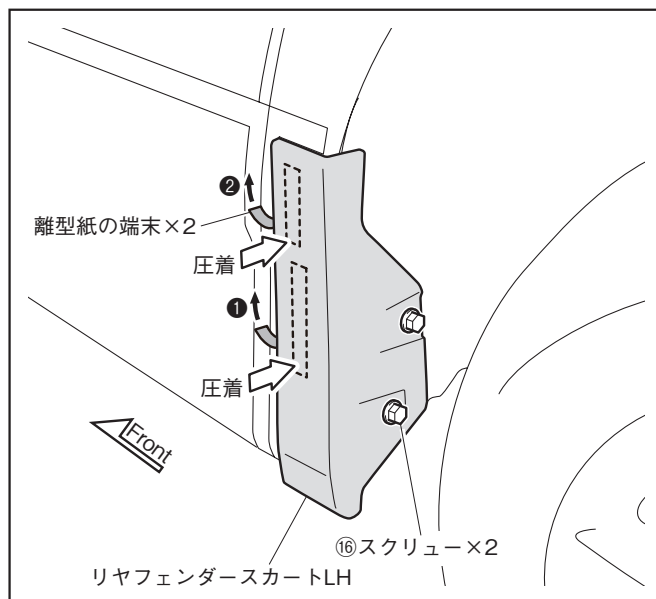
1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2～3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。

10. ⑯スクリュー (1 本) を本締めし、フロントフェンダースカート LH を固定する。

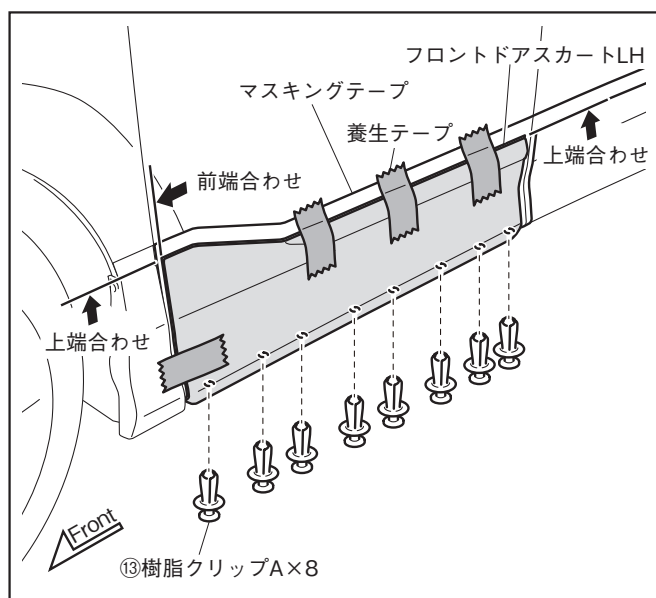


TG-BH-C06

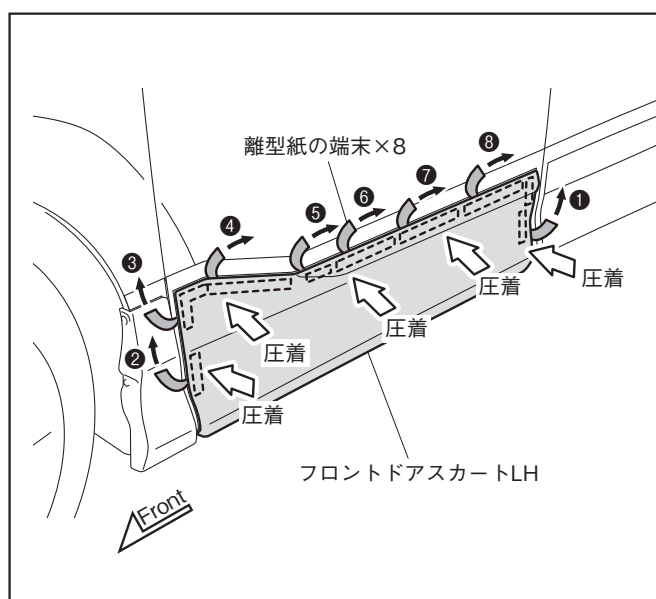
11. リヤフェンダースカート LH を位置決めし、⑭クリップ B (1 個)、及び⑯スクリュー (2 本) で仮固定する。



TG-BH-C07



TG-BH-C08



TG-BH-C09

12. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2箇所) を矢印方向へめくり、両面テープ部 (2箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

### ⚠ 注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2～3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。

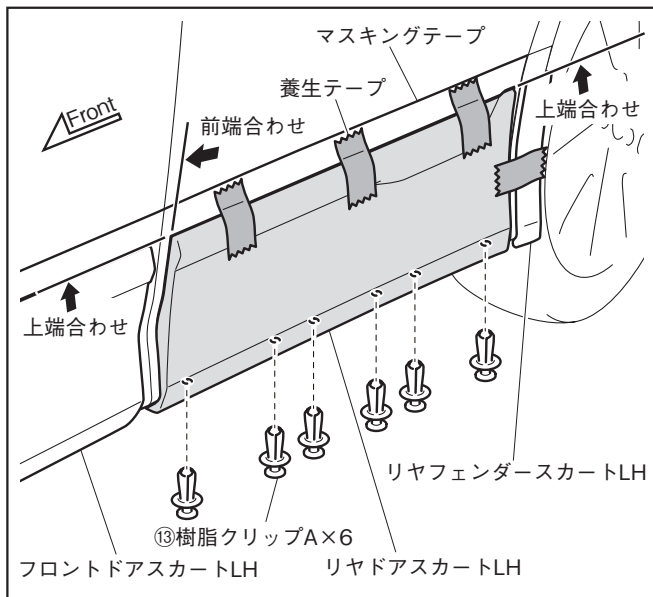
13. ⑯スクリー (2 本) を本締めし、リヤフェンダースカート LH を固定する。

14. フロントドアスカート LH を位置決めし、養生テープ及び⑬樹脂クリップ A (8 個) で固定する。

15. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (8 箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (9 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

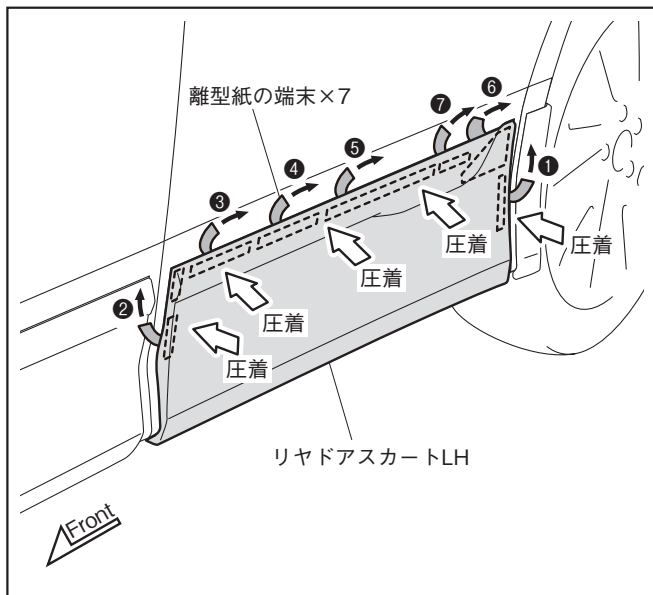
### ⚠ 注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2～3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。



TG-BH-C10

16. リヤダアスカート RH を位置決めし、養生テープ及び⑬樹脂クリップ A (6 個) で固定する

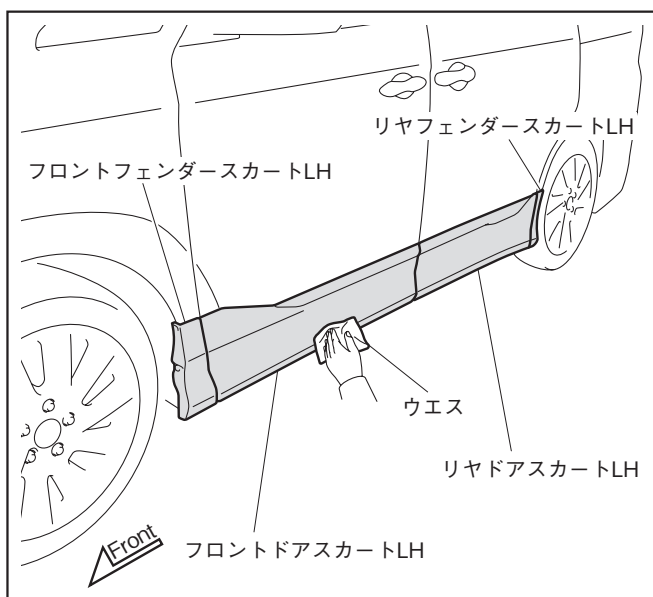


TG-BH-C11

17. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (7箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (8箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

### ⚠ 注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2～3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。



TG-BH-C12

18. 養生テープ及びマスクングテープをすべて剥がす。  
19. きれいなウェスをあてがい、再度均等に全面を 49N (5kgf) 以上で再圧着する。

### ⚠ 注意

こすりつけるような加圧は、剥がれ・傷付きの原因となりますので上から押し付けるように加圧してください。

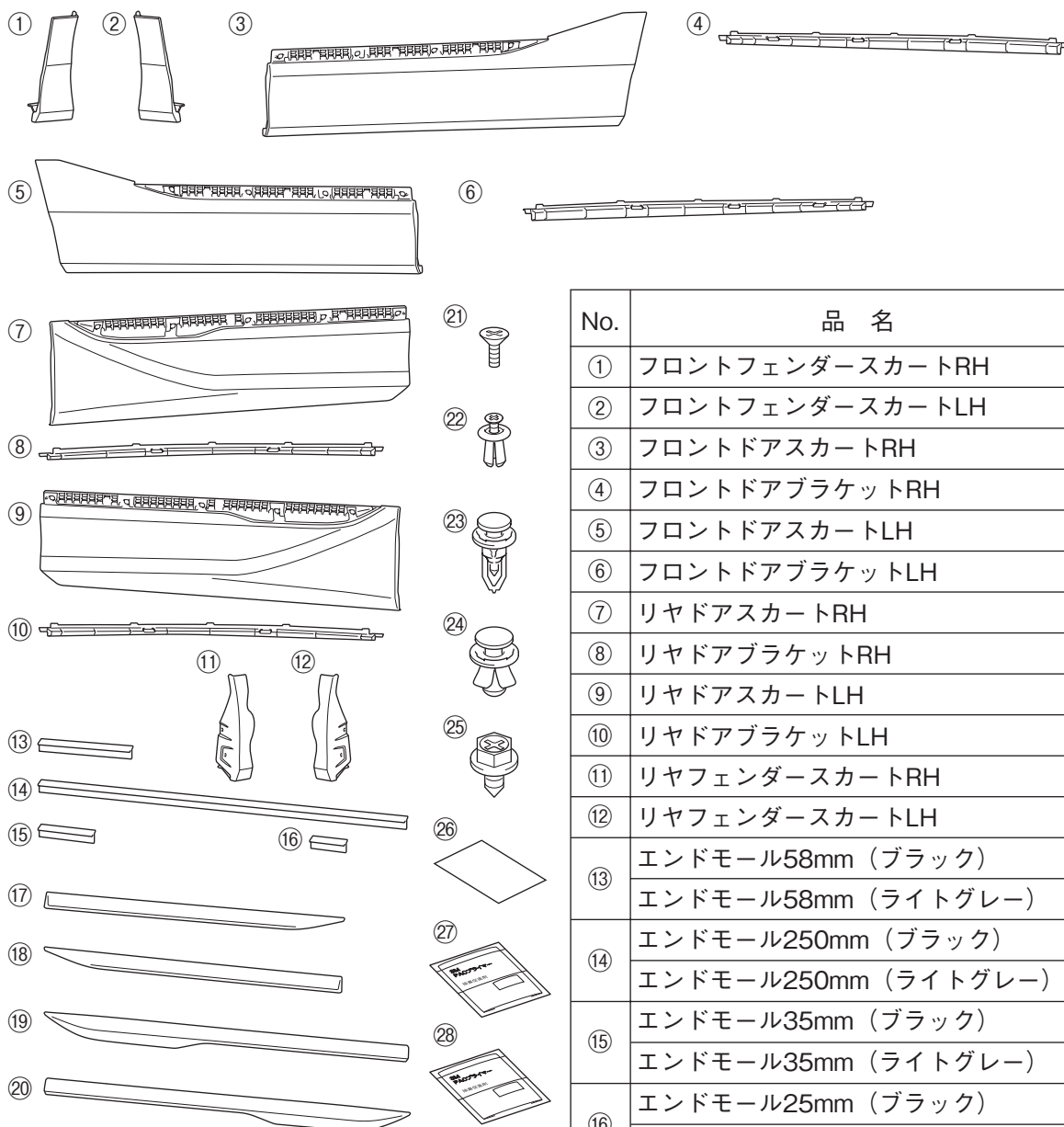
## 取り付け完了後の注意事項

- (1) サイドスカートが車両に確実に固定されているか点検してください。
- (2) 取り付けの際、サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。
- (3) より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。
- (4) ドアを開閉し、干渉がないことを確認してください。

# サイドスカート素地品の塗装手順

※以下の手順はLH側を図示しています。特記事項を除きRH側も同様に行ってください。

## 構成部品



### モール（※）推奨使用色

| 色番号 | 色名称              | モール色   |
|-----|------------------|--------|
| 070 | ホワイトパールクリスタルシャイン | ライトグレー |
| 1K0 | メタルストリームメタリック    | ブラック   |
| 1L6 | マッシュグレー          | ブラック   |
| 218 | アティチュードブラックマイカ   | ブラック   |
| 220 | スパークリングブラックPCS   | ブラック   |
| 226 | グリッターブラックGF      | ブラック   |
| 3R3 | レッドマイカメタリック      | ブラック   |
| 4X1 | スチールブロンズメタリック    | ライトグレー |
| 089 | プラチナホワイトパールマイカ   | ライトグレー |
| 229 | ニュートラルブラック       | ブラック   |
| 1M6 | アーバンロック          | ブラック   |

| No. | 品名                  | 個数 |
|-----|---------------------|----|
| ①   | フロントフェンダースカートRH     | 1  |
| ②   | フロントフェンダースカートLH     | 1  |
| ③   | フロントドアスカートRH        | 1  |
| ④   | フロントドアブラケットRH       | 1  |
| ⑤   | フロントドアスカートLH        | 1  |
| ⑥   | フロントドアブラケットLH       | 1  |
| ⑦   | リヤドアスカートRH          | 1  |
| ⑧   | リヤドアブラケットRH         | 1  |
| ⑨   | リヤドアスカートLH          | 1  |
| ⑩   | リヤドアブラケットLH         | 1  |
| ⑪   | リヤフェンダースカートRH       | 1  |
| ⑫   | リヤフェンダースカートLH       | 1  |
| ⑬   | エンドモール58mm（ブラック）    | 2  |
|     | エンドモール58mm（ライトグレー）  | 2  |
| ⑭   | エンドモール250mm（ブラック）   | 2  |
|     | エンドモール250mm（ライトグレー） | 2  |
| ⑮   | エンドモール35mm（ブラック）    | 2  |
|     | エンドモール35mm（ライトグレー）  | 2  |
| ⑯   | エンドモール25mm（ブラック）    | 2  |
|     | エンドモール25mm（ライトグレー）  | 2  |
| ⑰   | フロントドアスカートガーニッシュRH  | 1  |
| ⑱   | フロントドアスカートガーニッシュLH  | 1  |
| ⑲   | リヤドアスカートガーニッシュRH    | 1  |
| ⑳   | リヤドアスカートガーニッシュLH    | 1  |
| ㉑   | スクリュー               | 18 |
| ㉒   | 樹脂クリップA             | 46 |
| ㉓   | 樹脂クリップB             | 4  |
| ㉔   | 樹脂クリップC             | 2  |
| ㉕   | スクリュー               | 6  |
| ㉖   | 型紙                  | 1  |
| ㉗   | PACプライマー N210NT     | 1  |
| ㉘   | PACプライマー K-500      | 1  |

## サイドスカートの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を 70℃以上上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①サイドスカートをボディ色で塗装する。

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。  
変形しない様、形状を保持して乾燥させてください。

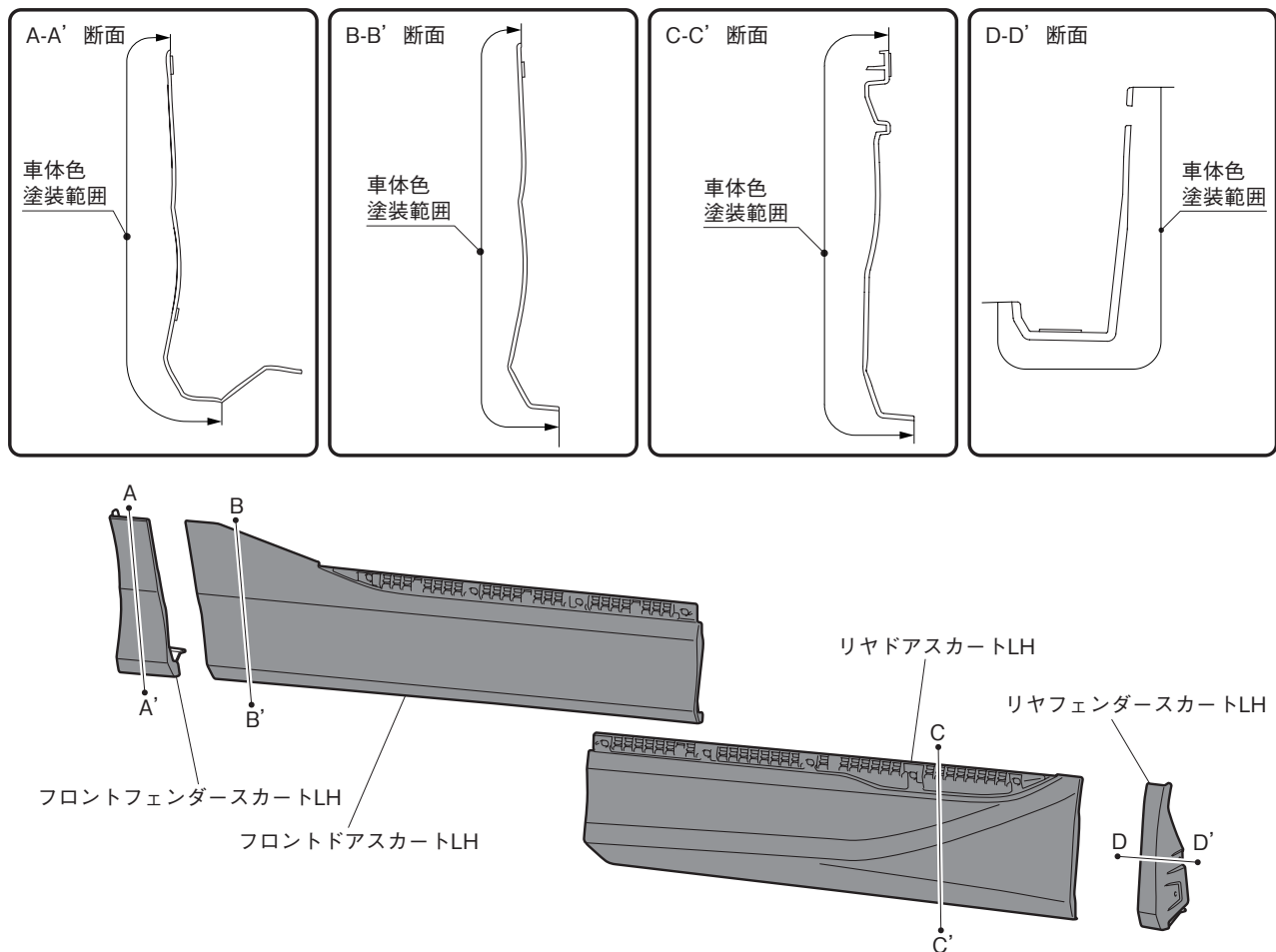
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面をマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。（本製品の素材は＞ PP ＜です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

## 塗装範囲

1. 下記塗装範囲を車体色で塗装する。

### アドバイス

モール貼り付け面は漏れがない様にマスキングしてください。

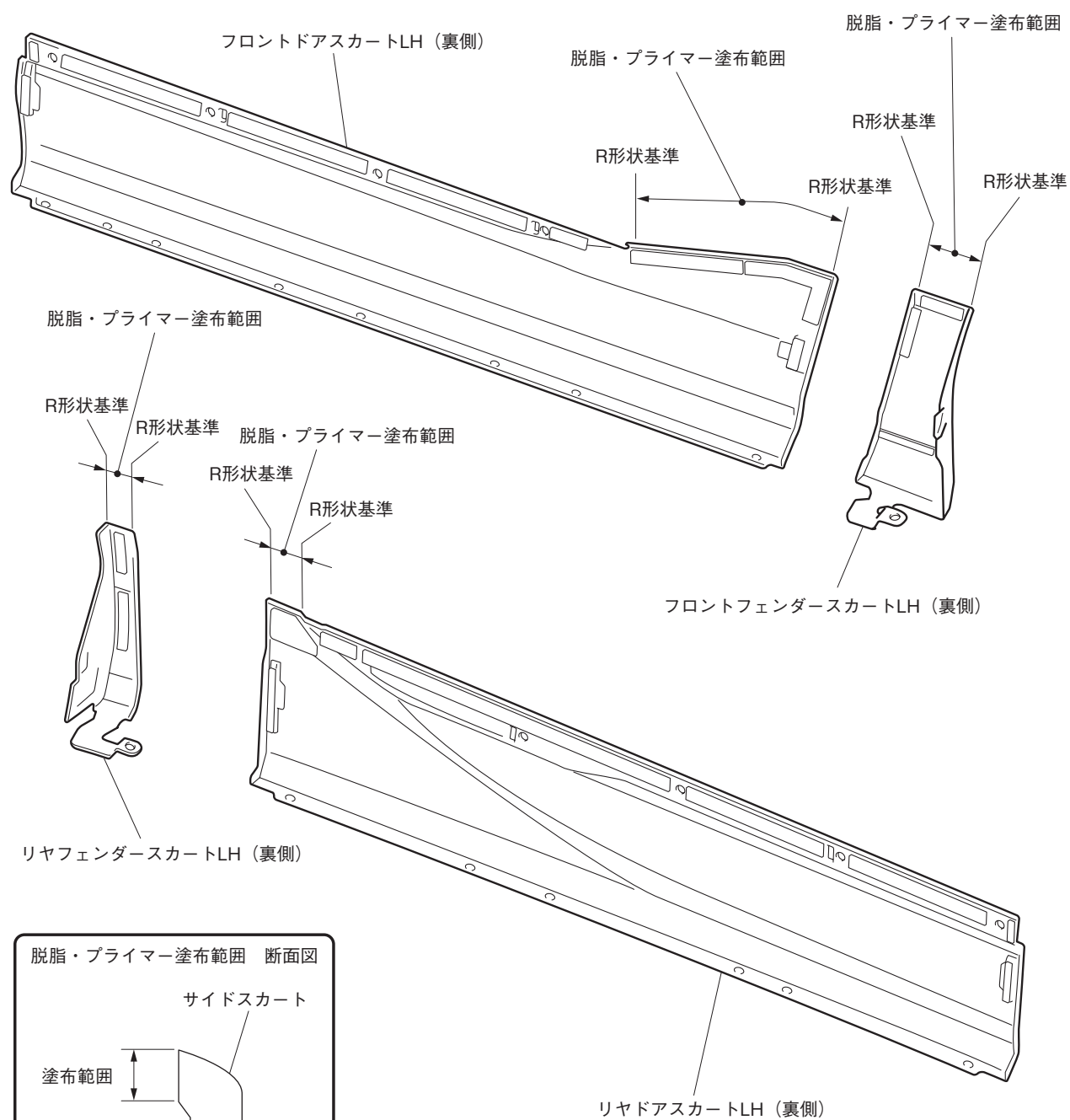


## プライマーの塗布

1. サイドスカートのエンドモール貼付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

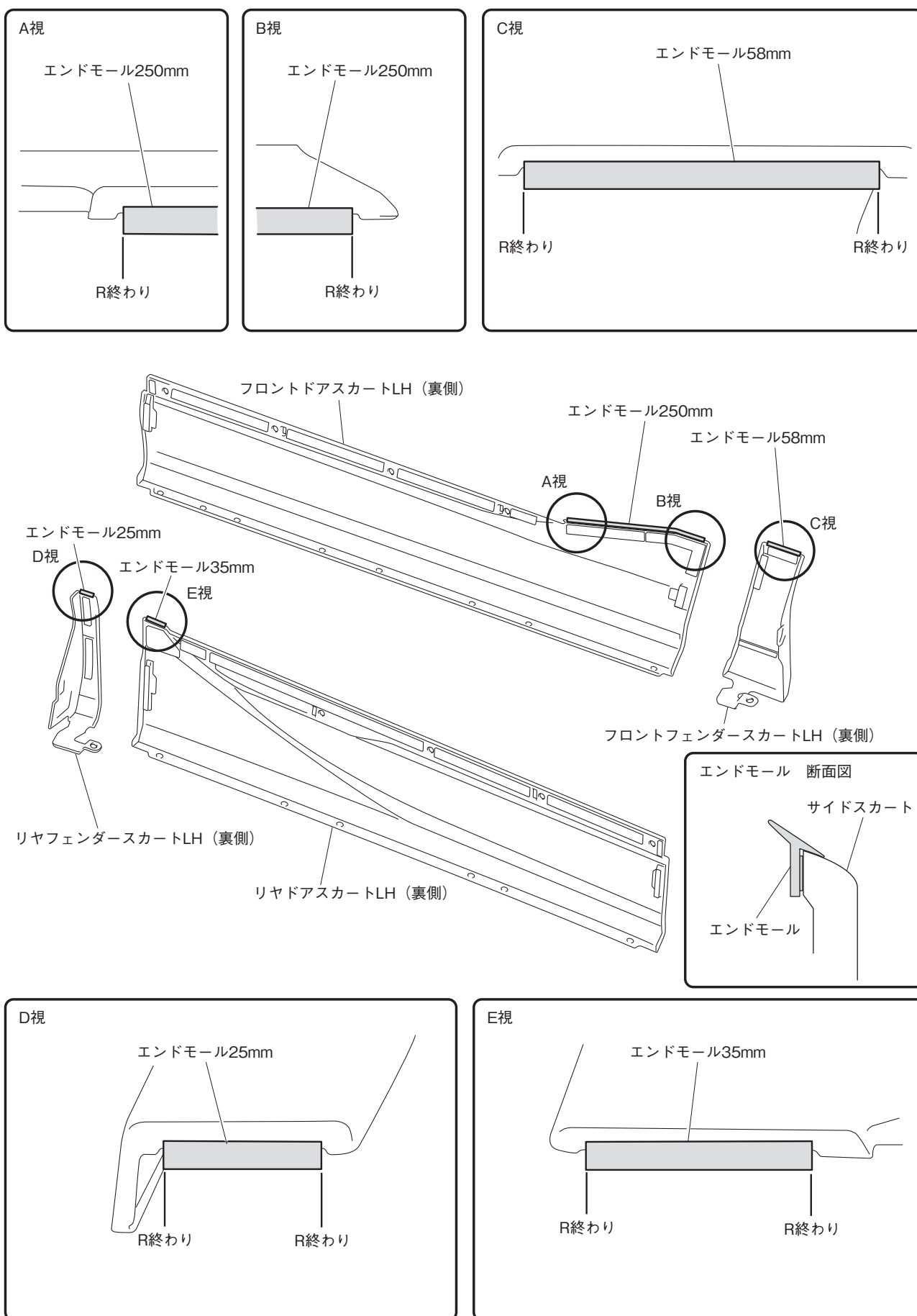
### 👉アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、IPA で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマー K-500 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。



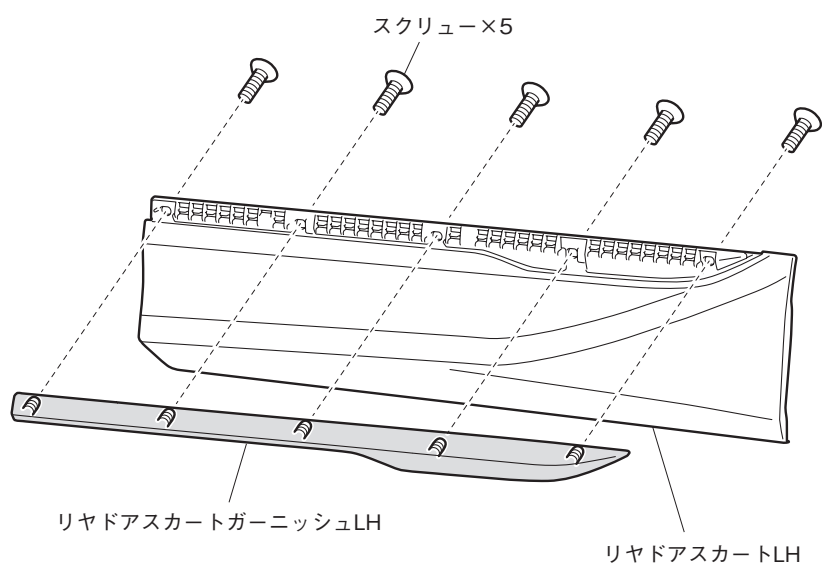
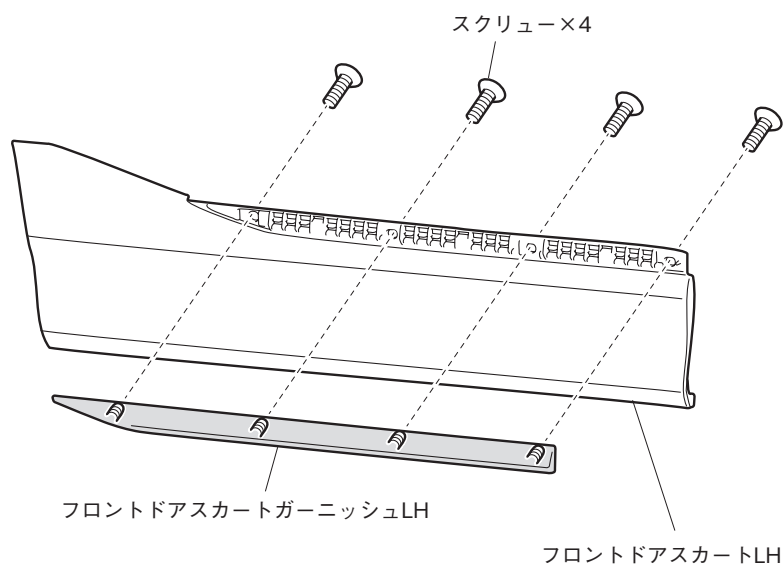
# エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。



## ガーニッシュの取り付け作業

1. スクリュー（4本）でフロントドアスカート LH にフロントドアガーニッシュ LH を取り付け。
2. スクリュー（5本）でリヤドアスカート LH にリヤドアガーニッシュ LH を取り付け。



TG-BH-F04

# 補修キット両面テープの貼り付け

※以下の手順はLH側を図示しています。特記事項を除きRH側も同様に行ってください。

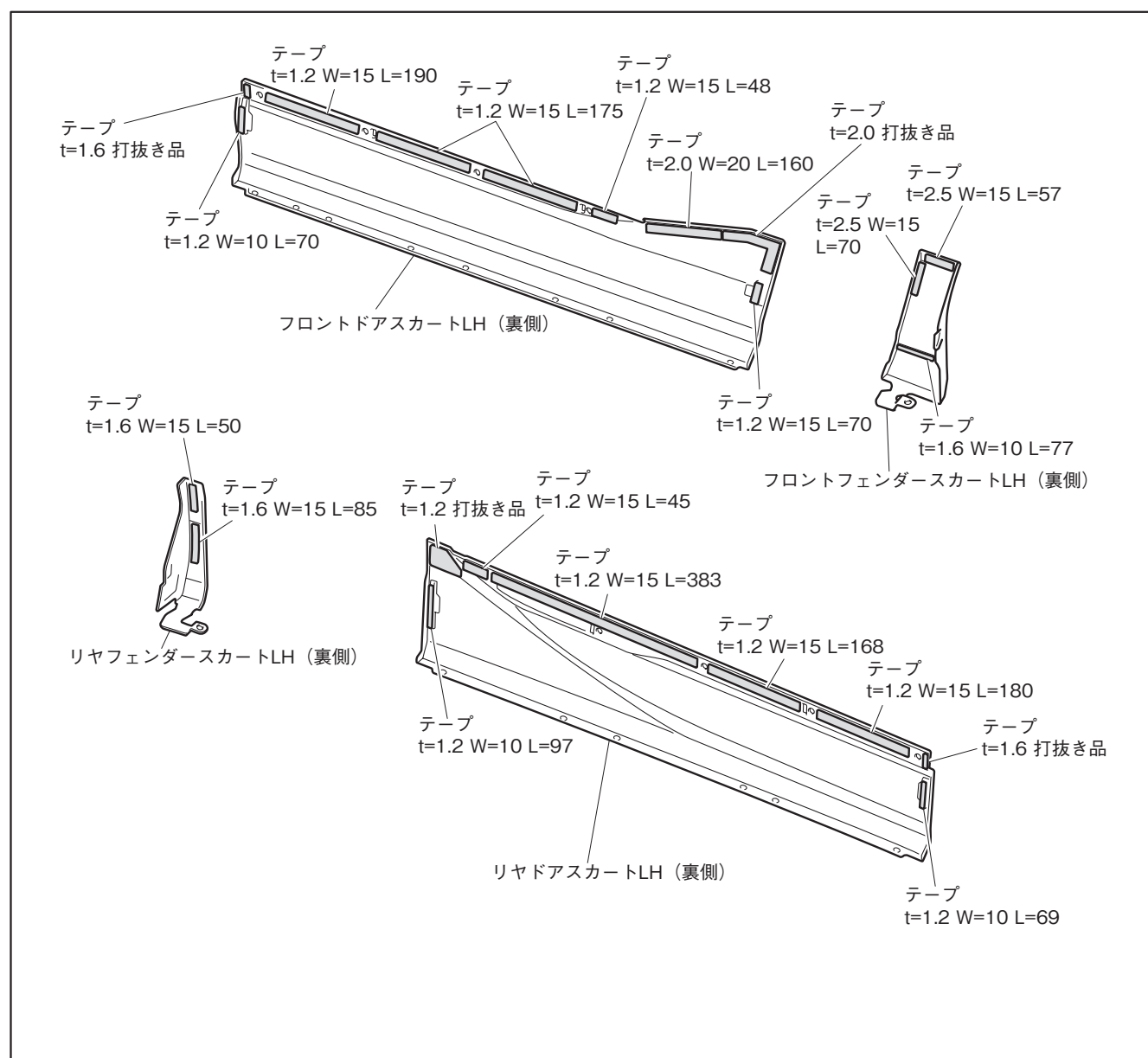
補修キットを使用してサイドスカート再取付けを行なう際の両面テープ貼り付けを記載しています。

1. 両面テープ貼付け部分を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

## 👉アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、IPA で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマー K-500 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。



TG-BH-F05

株式会社 トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

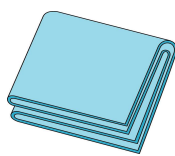


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



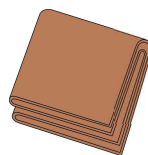
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



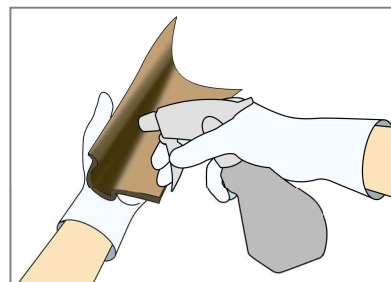
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。  
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

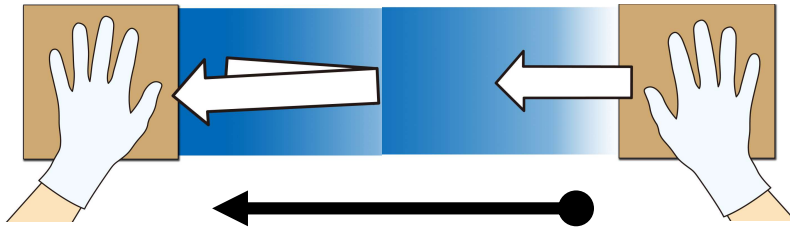
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

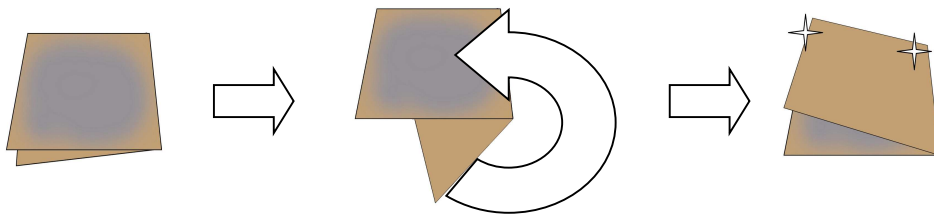
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。